

☆あいのまら☆
☆このまら☆
☆みんなのまら☆

「あしたば」のご紹介

介護している家族の悩みを語り合うことを目的として活動している「美唄市介護家族と共に歩む会『あしたば』」事務局長の畠山さん、会員の斉藤さん、小笠原さん、橋場さんにインタビューしました！

Q1 会の活動について教えてください。

畠山「月に1度の家族のつどい、リフレッシュとして5月に花見会、12月にはクリスマス会、その他にも旅行など行っておりまして。なかでも家族の『つどい』が活動の中心となっており、大変なことや困っていること、良かったことや嬉しかったことなどを話してもらおうことで、元気を取り戻していただくことを目的としています。」

Q2 会の役割が変わってきたのでしょうか？

畠山「介護のサービスについてよく理解していない人を専門職へつなぐ役割もあるのですが、役割が広く多くなっていると思います。」
小笠原「ですが、会でできることは少しかけ。会員が高齢化してきているし、介護サービスも多く、以前より充実してきています。現在介護をされている方の困りごとは、具体的なものになっているように思えます。」

Q3 「あしたば」から見ると、現在の介護についてどう感じていますか？

小笠原「高齢夫婦のみの世帯、高齢者のひとり暮らしなど、以前とは家族形態も変わってきており、介護の形も変化しています。」



「あしたば」では、毎月第3土曜日に「家族のつどい」を開催しています。
あしたばについての連絡先は本会まで。
あしたばの皆様、インタビューにご協力いただき、ありがとうございました！

「畠山」あしたばの会員は女性がほとんどですが、地域には妻や母親を介護している男性がたくさん存在しています。男性介護者は介護をしていることを表に出さない、相談しない傾向があります。相談しないと何も分からない、訴えなければ誰もその状況を分かりません。」
橋場「介護のサービスを使うには介護認定を受けなければならぬことも、どこに相談にいったら良いかも機会がないとわかりません。」
斉藤「講演会等があれば、出てきてもらえると良いと思います。そのなかで手がかりがつかめることもあります。」

Q4 これからの「あしたば」について教えてください。

小笠原「今のままの活動を続けられたら良いと考えています。高齢化のため難しいですが、新たな会員の力が必要です。」
畠山「会の基本は月1回開催の『つどい』です。介護をされている方も、介護を終えられた方も、参加していただけたらと思います。」

初開催！美富町内会新そば祭り

9月1日、西美唄福祉会館において地域で採れたソバを使った『新そば祭り』が開催されました。麺s倶楽部（めんずくらぶ）を主宰し、麺のレシピは七十種以上（！）という丸子町内会長が「環境整備の慰労を兼ね、地域で一番で採れたソバで交流を」と企画、開催されました。

夕方、地域の方々が集まってきました。最初はざるそばで軽くつまみや食事を楽しみ、会員の皆さんの話も弾みます。後半には温かいそばと焼き鳥（どうするかは皆さんお分かりですね？）も振舞われ、束の間、英気を養います。
コメ処の美唄、本格的な収穫期を前に、地域内で助け合う姿を垣間見ました。



第32回美唄市社会福祉大会のご案内

永年社会福祉の推進に貢献された方々に感謝の意を表するとともに、新しい支え合いの地域づくりについて考える大会とします。どなたでも参加できます。

日時 10月21日（土）

13時30分～16時30分

会場 総合福祉センター研修室

内容 式典（顕彰）・介護劇・記念講演

・介護劇「脳の健康教室」

・講演テーマ「新しい支え合いの地域づくりについて」

講師

社会福祉法人池田町社会福祉協議会
事務局長 佐藤 智彦さん

ご寄付ありがとうございます

—あなたの善意を地域福祉の充実に—

6月1日～8月15日

寄付者	金額等(円)	備考
匿名	2,000円	-
大富老人クラブ様	1,000円	-
美唄更生保護女性会様	20,000円	ふれあいまつりバザーの売上の一部として

発行/社会福祉法人美唄市社会福祉協議会

〒072-0026
美唄市西3条南3丁目6番2号
美唄市総合福祉センターぽぷら内

電話：62-0770

FAX：62-6996

Eメール：soumu.bibai-shakyo@pipalnet.jp

H P：http://www.bibai.com/shakyo/